

福津市社協だより

平成26年10月1日発行

みんなしあわせ応援団

FUKUTSU

しあわせ100%

第45号



ふくしの仕事・ボランティア体験の1コマ

市内の保育施設・福祉施設で94名が体験活動に参加。中学生から絵本の読み聞かせをしてもらっています。(津屋崎保育園)

社協だより

10/1号

topics

「赤い羽根共同募金運動」が始まります～じぶんの町を良くするしくみ～
市民後見シンポジウムを開催しました

ふくしの仕事・ボランティア体験月間 1日民生委員体験活動レポート

コーナー こんにちは！民生委員です(花見2区 前田 潤二さん)

10月19日(日)ほかほか福祉のつどいを開催します(場所:ふくとぴあ)





10/1
12/31

「赤い羽根共同募金運動」が始まります

〜じぶんの町を良くするしくみ。〜

JR福岡駅での街頭募金の様子

【赤い羽根共同募金とは】

赤い羽根共同募金運動(以下、「共同募金運動」という。)は、終戦直後の昭和22年から、住民が主体となって取り組む民間の運動としてスタートしました。

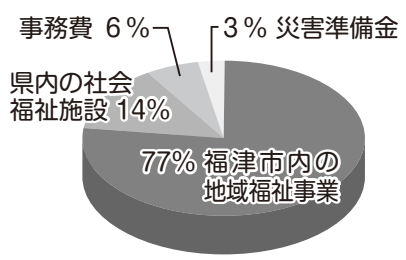
当初は、戦争の打撃を受けた福祉施設を中心に、その運営を支援する活動として役割を果たしてきました。その後、少子高齢化、核家族化やライフスタイルが変化する中で、共同募金は、地域社会での助けあい活動等を進めていく財源として重視されるようになり、今日に至っています。

共同募金運動(戸別募金、商店・事業所募金、募金箱の設置等)で集められた浄財は、約77%が福津市内の民間の地域福祉事業の財源となり、社会福祉協議会や地域のボランティア活動・福祉団体等に配分されます。また、残りの23%は、県内の社会福祉施設の運営等に配分されたり、大規模な災害が発生したときに設置される災害ボランティア本部の支援のための災害準備金として積み立てています。

【募金の仕組み】

共同募金運動は、漫然と募金を集めているのではなく、次年度に行う地域福祉事業などを計画し、それを実施するために必要となる募金額を定める仕組みとなっています。この方法を「計画募金」といい、使途計画を明確にすることで、住民の皆さまに募金の趣旨や目的を正しく理解していただき、また、納得していただく募金にご協力していただくものです。そのため、本年度の戸別募金運動は、来年度の配分使途計画に基づき、一世帯あたり600円を目安額とさせていただきます。皆様との協力をお願いしています。皆さまのあたたかいご理解とご協力をお願い申し上げます。

共同募金の配分先



市民後見シンポジウムを開催しました



自治会関係者、福祉関係者、金融機関職員など多くの方が参加しました。

社会福祉協議会では、平成26年6月28日(土)に「市民後見シンポジウム」を開催し、106名の方が参加されました。

「市民後見」とは、成年後見制度でいう後見人・保佐人・補助人(以下、「後見人等」という。)を、研修を受けた一般市民が担うことです。もともと、後見人等は親族が選任されることが多かったのですが、近年では親族以外の専門職や法人など第三者が選任される割合が増加しています(平成12年度9.1%→平成25年57.8%)。市民後見は、この第三者が担う後見のひとつで、身近な地域に暮らしている市民が、後見人等になることで、同じ生活者としての感覚で寄り添

う支援が可能となると期待されています。国も、今後、親族等による成年後見を受けることが難しい人が増加するものと見込んでおり、成年後見の担い手として市民の役割が強まると考えられることから、平成24年には老人福祉法を改正して、市町村に市民後見人を育成することを努力義務に規定しました。市民後見人の活用を図ることなどによって高齢者の権利擁護を一層進めようとしています。

当日は、市民後見に先行して取り組んでいる、福岡市社会福祉協議会の小池紀徹こいけのりゆきさんから成年後見制度や市民後見の概要を講演していただいた後、同会に所属して、市民後見人としての活動を行っている藤川さん・吉原さんをお招きして、活動現場での実際の様子をお話いただきました。

訪問活動は、預貯金の引き出しや郵便物の確認、支払の手続きの代行など、さまざまな事務処理を行う定期訪問が月1回。それとは別に、見守り訪問を月1～2回行っています。本人とお話をしながら、今の生活の中の要望や困っていることを聞きだしていきます。また、利用している福祉サービスの関係者(ヘルパーさんや施設の職員)などからも話を聞き、状態に変化が無いかどうかを確認していきます。

活動をするにあたっては、相手の立場に立ち、そのお話を否定せずに受け止めることを意識しながら、被害的なお話は受け流して話題を変えたり、話題が続くように本人の好きな歌番組の時間をお伝えしたりと、コミュニケーションに工夫しているという報告がありました。そして、相手からの感謝のことが活動を続けていく意欲につながっているとのことでした。

シンポジウム終了後、参加者からは「それぞれの支援者が協力して支援にあたるのが大事と言っていたことが印象的だった」という声が聞かれました。

福津市でも、今年7月から、社会福祉協議会が実施している法人後見の実務を担う形で、市民後見人の活動が始まりました。社会福祉協議会では、この活動が福津市内で根付いていくように取り組みを続けてまいります。



活動報告をする藤川さんと吉村さん

ふくしの仕事・ボランティア体験を実施しました!!

8月4日(月)～8月8日(金)に開催した「ふくしの仕事・ボランティア体験月間」に、幅広い世代の方々が保育施設や福祉施設での体験活動に参加されました。

参加者は、期待と不安が入り混じるなかで、緊張した表情を浮かべながら体験をスタートしましたが、時間が経つにつれて笑顔も見られるようになり、充実した体験になったようでした。



手話は小学校の頃に運動会で「♪世界に1つだけの花」を披露しましたが、それ以来なのでほとんど覚えていませんでした。耳の不自由な方を“ろう者”ということも初めて知りました。
(光陵高校1年生)



保育園の子供達が生き生きと安心・安全の中で時間を過ごしている姿に、うれしく思いました。
(社会人)



園児からはたくさんの元気を、先生方からはたくさんの知恵をいただきました。将来、保育士になりたいという私にとっては、とても貴重な体験となりました。ありがとうございました。
(光陵高校1年生)



私の夢が福祉関係の仕事なので、それに一步近づけた！という気持ちです。
(福間中学校1年生)



〈協力施設〉

【保育施設】

大和保育所・花見保育所・東福間保育所・真愛保育園・津屋崎保育園・いろどり真愛保育園

【高齢者施設】

特別養護老人ホーム津屋崎園

【障がい者施設】

福間サンテラス

【ボランティア体験】

(点字)ねむの会

(音訳)音訳ボランティアふくつ

(手話)福津市手話サークル

「ひまわり」の会



「体験を通して、大変な仕事だなと思ったのと同時に、やはり夢に対する想いは強くなりました。」

1日民生委員体験活動

夏休みに、福津市内の小学校4～6年生が福津市民生委員・児童委員協議会主催の「1日民生委員体験活動」に参加しました。この取り組みは、民生委員の活動をより多くの人に知ってもらい、身近に感じてもらいたいということで始まり今年が2年目になります。市内の小学生84名から申込みがあり、子どもたちは自分たちが暮らす地区を担当する民生委員さんと一緒に、ご近所で暮らす高齢者のお宅を訪問し「お元気ですか?」「今朝は何を食べましたか?」などいろいろな会話をしました。体験を通して、小学生と高齢者の新たなつながりと、たくさんの笑顔が地域の中に生まれていました。



高齢者のお宅を訪問し「お元気ですか?」と声掛け



名札と委嘱状を受け取り、いざ出発!



ドキドキしながら質問中



手作りのメッセージカードをプレゼント

広げよう **地域** に根差した **思いやり**

こんにちは!

民生委員です

— やれることを、精一杯 —



1日民生委員体験の様子



はなみ 花見2区民生委員
まえだ じゅんじ 潤二さん

中学生の頃から長年、花見地区にお住まいの前田民生委員さんは、民生委員になられて今年で7年目になります。地域とのつながりを大切にされ、「少しでもお年寄りのためになれば」という想いで、地域の高齢者のお宅を訪問されています。

前田民生委員さんは花見地区について「花見は、まさに白砂青松!とても住みよいところです。お年寄り同士のつながりも強く、最近子どもたちも増えています。区民体育祭も50周年を迎え、地区のつながりの強さを感じています。」と地域への想いを、熱く語って下さいました。



松原の先に広がる海

参加 **福祉ボランティア団体** **福祉団体** **障がい者福祉施設** **福祉NPO法人** **福津市社会福祉協議会** ほか

福津市市制10周年記念事業

ほかほか福祉のつどい

平成26年 **10/19** 日

時間 10:00～15:00
(一部コーナーを除きます)

会場 ふくとぴあ



10周年企画

10:30～14:30

恋するフォーチュンクッキーほかほか福祉のつどいバージョン、撮影参加者募集!

AKB48の「恋するフォーチュンクッキー」を踊って、福祉への想いをダンスでつなごう。後日、インターネット動画サイトに公開予定。

9:45～

開会式(1階健康プラザ)

10:00～15:00
(一部コーナーを除きます)

バザー・物販、飲食物販売
福祉体験スタンプラリー

15:00～

お楽しみ抽選会



当たります!

「ぶんぶんれ」もやってくる



●同時開催(主催:福津市)●

福津市ふれあい交流事業 (1階健康プラザ)

10:10～14:30

★【点字】【手話】【音訳(朗読)】を学び、ボランティア体験ができます!

★ふれあい喫茶オープン
障がいのある仲間たちがつくるお菓子と飲み物を準備して、みなさまをお待ちしています!

★展示コーナー

- ①ユニバーサルデザイン展示コーナー
- ②市内障がい関係施設・団体パネル展示

●主催：ほかほか福祉のつどい実行委員会 ●後援：福津市・福津市教育委員会

【同時開催】シルバーまつり(シルバー人材センター主催)

問い合わせ

福津市社会福祉協議会
電話 (0940)34-3341

みなさまからの募金や香典返しのご寄付をお願いします。

社会福祉協議会が行う地域福祉事業の多くは、みなさまからお寄せいただいている「赤い羽根共同募金配分金」や「香典返し」等の浄財を財源に実施しております。これらの浄財は「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」のための事業に活用させていただきますので、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

〈ご寄付の受付・問い合わせ〉

社会福祉協議会事務局(ふくとぴあ2階) ☎ 0940-34-3341



ご寄付をいただいた
特定非営利活動法人にぎわいドオーツ・コム様